

令和 5 年 2 月 24 日



学校だより 3月号

横浜市立瀬谷さくら小学校

校長 池田 千晶

学校教育目標 「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

三方よし

校長 池田千晶

「う～、どきどきする!」

先日の学びを伝える会で、子どもが言っていた言葉です。年度最後の授業参観を、1年間の成長を伝えるための参観にしようと決めたのは昨年度ですが、コロナの関係で実施できませんでした。ですから、今年度が初めての試みとなります。子どもたちは保護者の方の他に、ペア学年等やお世話になった方々を招待して、学んだことを伝えていました。どのクラスの時間も今年の成長が表れていて、とてもよかったと思えました。特に保護者の方に伝える緊張は格別だったようです。保護者の方の温かいまなざしと拍手が、子どもの自己肯定感の高まりをさらに後押ししたと思われます。また、早々にその感想を届けてくださる方もあり感謝いたします(参観の様子は学校 HP でご覧ください)。

どのようにしたら子どもの成長を一番輝くように伝えられるのか、職員はずっと考え工夫してきました。子どもと保護者の方の様子を見て、職員も嬉しかったと思います。途中は大変でも、多くの子どもと保護者が笑顔になれたことに、やりがいを感じています。

「三方よし」とは、売り手と買い手がともに満足し、さらに社会貢献もできるよい商売のことを指すといわれていますが、これを学校に当てはめるとしたら、「子どもと保護者と学校のそれぞれにとってよいこと」と読み替えることができるのではないのでしょうか。以前、学校職員の働き方改革の一環としての留守番電話設定時間の周知と保護者の方の時間割確認のシステムを同時にお知らせいたしました。多くの方のご理解をいただき、学校と保護者双方にとってよかったようです。また、年度末、白衣の個人持ちのご提案をさせていただきましたが、持続可能な PTA 活動を見直すにあたって決断させていただきました(詳しくは2月13日のお便りをご覧ください)。少々急なお知らせだったので戸惑われた方々もいらしたかもしれません。改めてお詫びいたします。

1年間、子どもの成長をともに考え、パートナーとして取り組んでいただいたことに深く感謝申し上げます。そして、学びの会の活動を通して、改めて地域にとってもあたたかく見守られているさくらの子の幸せを感じました。残り1か月、それぞれがよりよい進級ができるよう、職員一同取り組んでまいります。引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。